

地域と一体になった学校づくり

越前市武生東小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	7回(のべ) 7日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	33人
授業ボランティア(含:低ボラ)	380人
登下校支援ボランティア	1000人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「 ※ふるさと教育 」

具体的活動内容 ※50年続いている静岡県浜松市積志小学校との交流を通して地域を知ろう

- ①昭和36年11月23日、3年生が「風船を飛ばして遠くの友達と仲良くしよう」と風船に手紙をつけて飛ばした。その風船が静岡県まで飛び、拾われる。そこから交流が始まる。
 - ②今年50年目の積志小との交流は、春に訪問し、秋に迎える形で継続されている。
 - ③地域の人や保護者の中には小学校時代に交流している人もいて、今も交流を続けている人もいる。地域に根ざした活動となっている。
 - ④歓迎時にはグループで町探検をしたあと、伝統産業体験(打刃物、紙漉、絵付け、塗り箸)を行っている。
 - ⑤児童は越前市の魅力を伝えるために、計画を練り、町探検(5コース)の事前学習に一生懸命取り組んだ。保護者の方にも、町探検を安全に進めるための補助活動をしていただいた。
- また、保護者の方には、会場の飾り付けや環境整備など多岐にわたって協力していただいている。出迎え時には、地域の方々も駆けつけて風船を持って列に加わっている。
- ⑥5年生同士の交流時には、グループごとに大型タペストリー【写真】を共同で製作した。
 - ⑦地域の人(風船会:歴代の交流を進めてきた保護者の会)や保護者は会食をし、「たけふ菊人形」で交流を深めている。
 - ⑧地域学校協議会では、歓迎セレモニーに参加するだけでなく、事前の協議・当日の運営面でも参加いただいている。



成果と課題

子どもを伸ばすためには、学校・家庭・地域がお互いに理解し合い、結びつくこと、家庭の教育力向上のためには、子どもの親世代が地域に出かけることが大事だという意見が出た。またそれが、地域の活性化にもつながる。学校・家庭・地域の連携を大事にしながら、子どもたちを育てていかなければならない。

